

郡之昔、點此所構家屋、男子者、略女子者、有加一乃末陪、中加一乃末陪、加一乃末陪也、已上八人、
男女子宅並贅、

〔有職問答五〕一御方、君達、若君事、
東西南北ニ分テアリ女房ノ品

此次第、家々一尙俗語候、攝家清花ノ餘流迄ナ可稱歟、により、上中下違目御座候哉、

〔仁和寺諸堂記〕威德寺 白河院御寵人東御方、俗號祇園女御伴人建立、略下

〔吾妻鏡十八〕元久二年六月廿三日己酉、今度合戰之起、偏在彼重成法師之謀曲、所謂右衛門權佐朝

政、於畠山次郎有遺恨之間、彼一族巧反逆之由、頻依讒申于牧御方、遠州北條時政室、略

〔皇胤紹運錄〕伏見院

道熙法親王、青蓮院、三位殿實明卿女、

僧聖珍、東大寺東南院、三位殿實明卿女、

慈眞法親王、廣義門院西御方、實明卿女、

〔總見記五〕武田信玄來歷事附結婚和睦事

同年永祿十一年十二月、信長公ヨリ結入レノ御進物アリ、略中契約ノ御息女菊ノ御方へ、厚板薄板

緯白織紅梅各百端宛、合四百端、略中進ゼラル、

〔柳營譜略乾〕東照大權現宮

良雲院殿、下山之御方、信吉卿之母堂

〔撈海一得下〕今婦人ノ名ニ、阿ノ字ヲ冠ラシムルコトハ、タトヘバ政子ト云ナ、太平記ニ、高師秋ガ、

菊亭殿ニ在シ、阿才ト云女ヲ奪シ事アレバ、四五百年以降ノコトハ、見エタリ、今ノ清ニテモ、女ヲ

呼ブニ、阿ヲ付ルト云、日知錄ニ、隋獨孤后、謂雲昭訓爲阿雲、今閭巷之婦、亦以阿挈其姓也、姓ヲ呼

呼、今ノ儒生、蒙求ヲ説、開卷第一義ニ、阿戎ヲ屋戎ト讀テ、初學ノ聞ヲ悚ス、是モ日知錄ニ、阿字、今南

云、藤氏ナレバ、源氏ノ女ハ、源ト云ナリ、又此類ノ阿ヲ、韻會小補ニ、音屋トシ、字彙補ニ、阿葛切トシテ、入聲ニ